

新しい年のご挨拶を申し上げます

1992年になりました。今年は環境と開発の国連会議が、別名を地球サミットと称して、リオデジャネイロで6月上旬に開かれます。環境問題に焦点をあわせたこの国連会議の報道がぼつぼつ目立ちだしていますが、最大の環境問題は、あるいは環境問題の根源は、地球上の貧困問題、つまりは開発問題にあることを軸にして、環境と開発の問題を考えていかなければいけないと思います。

開発教育協議会も第二の十年に入ります。理事会では別項でご報告するように事務局体制の強化に取り組みだしています。もう少ししっかりした事務局体制を整えて、開発教育の広がりをはからなければいけない、と考えます。新しい年の初めにあたり、会員の皆さんの一層のご活躍を祈念するとともに、特に今年は事務局強化に対する一段のご協力をお願いします。

貧しさの克服と環境問題

- 国連環境と開発会議の課題

国連の環境と開発会議（UN Conference on Environment and Development, UNCED）が今年の6月1日から12日まで、ブラジルのリオデジャネイロで開かれる。これは地球に関する世界首脳会議（Earth Summit）ともいわれ、地球の生存のために、発展途上国と工業国との間の協力関係の基礎を固めようとするもので、環境と開発の間に実行可能かつ公正なバランスをはかるため行動計画を策定しようとしている。そのためにすでに事務局が設けられ、準備会議で各国間の調整が進められているが、事務局が発行しているニュースレターにでていた貧困と環境破壊の問題についての準備資料を次に紹介する。

地球サミットの立脚点は「発展途上国の貧困と開発、環境問題を同時に取り上げる戦略の出発点は、資源でも生産でもなく、人間でなければならぬ」ということにある。資源に頼って生きていく人々の生活を無視して、資源の保護と生産に焦点をあてる環境政策は貧困を拡大するだけである。同時に、資源の長期的供給を考えずに物資の生産増加だけに焦点をおく開発政策は、遅かれ早かれ、

生産性の低下にぶつかる。

国連の資料によると、発展途上国の10億の人間が絶対的な貧困の状況におかれている。この絶対的な貧困層というのは、栄養的に最低の食生活と最低限の非食糧必要品を賄うことができない収入しか得られない層、と定義している。この10億人の64%はアジアに、24%はアフリカに、12%はラテンアメリカとカリブ海地域に住んでいる。しかし収入額だけが問題なのではない。教育、保健サービス、きれいな飲料水、などに手が届く状態にあるのかどうかという、貧困の別の側面も考慮に入れなければいけないと、資料は指摘する。発展途上国の15億の人間が保健サービスを利用できる環境になく、17億5千万人が清潔な飲料水を口にすることができず、28億人が衛生設備に恵まれていない。さらに8億7千万人の成人が文字の読み書きができず、1億5千万人の子どもが栄養不良の状態にあり、2億4千万人の学齢児が学校に通っていない。

貧しい人々は洪水や地滑りなどの起きやすい、つまり災害の起こりやすい地域に住み着きがちだという、貧困のもう一つ別の問題点も考慮に入れなければならない。そういうところしか貧しい人には与えられていないからである。さらに、貧乏人に与えられている耕作や牧畜の条件は、干ばつ

やその他の自然災害の被害をより大きく受けやす
くしている、ということもある。

国のレベルで問題をみると、貧困と環境破壊の
問題は巨視的経済の文脈に総合される。すなわち、

所得が減少し、投資可能な資源は減少し、貿易の
条件はますます悪いほうに向かっていく、という

ことになる。そこで持続可能な開発であるために
は、安定を確保し、効率性を高め、弱点を減らす

ような施策が、国際的にも国内的にも講じられな
ければならない、ということになる。

貧困と環境破壊が固く結びついていることの原
因の一つには、成長と投資が限定されてしまう巨

視的な経済環境にあるのだが、同時に、人口増加
と生活手段という問題も指摘される。人口の問題

というのは、人口増加率が規模として貧困環境症
候群に与える影響である。高い人口増加率は社会

経済組織の吸収能力に無理を生じさせ、その結果、
貧乏人の、そして環境の弱点を増大させる。自然

資源や雇用機会への不平等なチャンスが、貧困と
環境破壊に結びついている。

環境破壊と貧困の双方に同時に取り組もうとい
う活動は、反貧困活動の対象と地域開発事業の資

源管理とを結びつけなければいけない。そういう
総合的な取り組みの目標として、次のようなもの

があげられた。

1) 労働力の増加とこれまでの失業者を吸収し得
る規模で、報酬をとまなう雇用と生産的な職

業機会を創設する

2) これとあわせて、資源に恵まれない階層の選
択機会を拡大するためにも、社会の下部構造、

市場機構、技術システム、信用制度などを発
展させる

3) 資源の生産性の実質的な向上をはかり、また
地域住民が資源利用の正当な利益を確保でき

るようにする

4) 破壊された資源の再生をはかり、持続不可
能な資源利用を禁止する政策を採用する

5) 持続可能な開発を確保するために、国民の、
とくに貧困層の参加を確実にする仕組みをつ

この資料は国連環境と開発会議の準備会議に提
出されて、こういう行動計画が可能かどうかを検

討されているところだという。(国連会議広報資
料から)

だれがコロンブス500年を祝うのか

1992年はクリストファ・コロンブスがアメリカ
大陸を「発見」して500年を迎えるというので、

さまざまな記念行事がアメリカ大陸の諸国を中心
に企画されている。そのコロンブス500年記念に

対して、カリブ海のドミニカ共和国のポリテクニ
クの学生が強烈な批判を寄せている。以下はその

概要の紹介である。

クリストファ・コロンブスはアメリカ大陸を1
492年に「発見」し、1992年はその500年記念の年

だという。コロンブスはアメリカ大陸を間違っ
て「インド」と認識した。にもかかわらず彼の「発

見」と「キリスト教伝道」を偉大な業績としてた
たえ、膨大な経費をかけて記念事業が行われよう

としている。だれがコロンブスの来訪を祝うのか。
彼がアメリカ大陸を「発見」したというのであ

れば、その以前からこの土地に住んでいた人々は、
なんだというのだろう。彼がキリスト教の福音を

もたらしたというのであれば、彼の来航のせいで
殺され絶滅に追い込まれた土地の人々にとっての

福音というのは、なんなのだろう。私たちはコロ
ンブスの「発見」も「伝道」も認めるわけにはい

かない。

にもかかわらずドミニカの大統領は、コロンブ
ス記念燈台を500年記念事業として建設しようと

している。そもそも悪名高い独裁者トルヒーヨが
ずっと以前に計画したことだ。独裁者トルヒーヨ

にしても、この燈台をラテンアメリカ諸国からの
寄金によってつくろうとしていた。しかし現大統

領のバラゲールはこれを自分の計画だとし、しか
も全額をドミニコの国家予算で賄うとしているの

である。電気がなく、水道がなく、貧しい失業者
が国中に溢れているにもかかわらずである。

だれがなんのためにコロンブス500年を祝うの

だろうか。(カナダYMCAの国際開発問題広報紙、
Latitudeから)

参考までに、ドミニカ共和国は、カリブ海域の
大アンチル諸島で二番めに大きな、ヒスパニオラ

島の東部に位置する。島の名前そのものがコロ
ンブスによって命名されたものである。コロンブス

はここに植民地を建設した。人口700万人、砂糖
やコーヒーなどの一次産品に頼っていて、輸出の

大部分がアメリカ合衆国向けで、経済は完全にア
メリカに左右されている。

お知らせとご案内です

§ アムネステイ入門セミナー

アムネステイ・インターナショナル日本支部で
はアムネステイに関する初歩的な入門セミナーを、

1月11日(土)午後2時からと24日(金)午後7時
から大阪事務所で、1月18日(土)午後3時から

と25日(土)午後2時から東京事務所で開きます。
いずれも2時間の予定。参加費300円ですが事前

に申し込んでください。問い合わせは〒169東京
都新宿区西早稲田2-3-22のアムネステイ日本支部

東京事務所。Tel.03-3203-1050。

§ KISわいわいトーク

神奈川県国際交流センターでは1月19日(日)
午後3時から、同センターで開発教育ってなんだ

ろうという主題で話し合いの会を開きます。ゲスト
は鎌倉市内の小学校の先生、千葉保さん。会費は

飲物代の300円で、コップ持参のこと。問い合わ
せはTel.045-671-7070。

§ シャプラニール車座トーク

シャプラニール市民による海外協力の会の1月
の車座トークは、1月24日(金)午後7時からベン

ガルの詩と題して、バングラデシュの歴史と文化
を語り合います。参加費500円。東京都新宿区西

早稲田の早稲田奉仕園セミナーハウスで開きま
す。お問い合わせをTel.03-3202-7863まで。

§ 死刑廃止フォーラム

アムネステイ・インターナショナル日本支部で
はフランスの元法務大臣バダンテール氏を招いて、

(土)午後、東京都千代田区の日比谷公会堂で開
く予定です。詳細は決まり次第お知らせします。

§ バングラデシュで奉仕と交流の青年キャンプ

東京YMCAはバングラデシュのYMCAとYMCA運動
間協力活動の一環として、3月16日から2週間の予定

でバングラデシュでワークキャンプを開きますが、
参加者を募集中です。年齢18歳以上で自己紹介が

できる程度の英語力が必要。費用は12万円ですが、
面接による選考があります。申し込みは1月20日

(月)までに、〒101東京都千代田区神田美土代
町、東京YMCA国際奉仕センターあてに。Tel.03-32

93-7011。

§ アジア協会アジア友の会 二つのワークキャ
ンプ

アジア協会アジア友の会では2月20日から3週間
の予定でインド、カルナタカ州ビジャプールで井

戸掘り作業と農村開発プロジェクト見学のワー
クキャンプを開きます。参加費は29万円ですが、ほ

かに個人的な費用が必要です。

また3月17日から2週間の予定でインドネシアの
スンバ島で、有機農業のための試験農場づくりの

ワークキャンプを開きます。参加費は24万円で、
ほかに個人的な経費が必要。

いずれも50歳以下で健康であることが条件。希
望者は〒101東京都千代田区神田駿河台1-2馬事畜

産会館B1 アジア協会アジア友の会東京事務所へ
問い合わせのこと。Tel.03-3233-2998。

§ ユニセフ活動報告91年版 ユニセフ世界子供
白書1992年版

日本ユニセフ協会では、上記の刊行物をユニセ
フ活動を広げるために使って頂こうとしています。

ご入用の方は早めに〒160東京都新宿区大京町31
-10第一大京町ビルの日本ユニセフ協会まで申し

込んで下さい。Tel.03-3355-3221。

協議会事務局から

★ 第53回理事会

12月2日の午後開催し、事務局体制の強化、新
年度事業などについて協議し、新事務局長に雨森

を委嘱されているので、事務局長就任に伴う役員人事の調整は別途講ずることにした。また女性と開発、環境と開発、子どもの人権などについてのネットワークが形成されだしているので、協議会として十分な対応をしようということになった。

★ 91年度第6回運営会議

11月14日の夜に開催し、運営会議の役割、各委員会所管事項などについて報告と協議が交わされた。

★ 91年度第7回運営会議

12月19日の夜に開かれ、懸案事項を協議した。

★ 出版物のあっせん

事務局では古今書院と提携し、同書院の新刊「第三世界の開発問題」(M.モリッシュ著 保科秀明訳 定価3000円)を一割引で会員にあっせんすることにした。協議会会員の手元に、同書院作成の葉書が送られ、それによって注文すると協議会経由で書院に注文伝票がまわり、同書院から会員の手元に本が直接届くという仕組み。会員は定価の一割引の料金を振り込み、協議会は手数料と

して定価の一割を差し引いて同書院に送金する。大型書店が近くにある方にとっては、書店で直接購入するよりも時間がかかることになるが、一割引で入手できるということと、協議会にも手数料が入るという特典があるので、せいぜいご利用頂きたい。

★ 事務局長交替

昨年に引き続いて事務局長を勤めていた吉永宏さんが、本務が多忙をきわめてきたため代表理事を通じて辞意を表明していたが、12月2日の理事会でその辞任を承認し、新しい事務局長に雨森孝悦さんを委嘱した。

★ 事務局を手伝ってくださる方、声をかけてください

協議会の事務局はこれまでもボランティアや非常勤の半ボランティアに支えられてきましたが、事務局体制の強化が今年最大の課題になってきました。非常勤あるいはボランティアで、協議会事務局の一端を担ってくださることに関心と可能性のある方は、ぜひ、ご連絡ください。

【新入・継続会員】(敬称略、受付順、10月19日～12月24日)

<新入会員>

口村圭乃(大阪) 畠村貴子(東京) 太田佳孝(東京) 長谷川正利(神奈川) 紀本栄一(大阪)
宮永恵美(東京) 和仁達郎(神奈川) 前田仁美(京都) 稲生優子(東京) 中村早苗(宮城)
橋本科学子(千葉) 山田 孝(愛知) 坪内 睦(インドネシア) 金子亜里(神奈川) 清水建二(東京)
名手滋子(和歌山) 高塚康子(東京) 町田 裕(埼玉) 金井真知子(大阪) 森 睦子(兵庫)
大林正平(滋賀) 善前利治(千葉) 梶井恵子(宮崎) 澤居比佐夫(滋賀) 栗 又衛
(茨城)

<継続会員>

大井智弘(埼玉) 松本 悟(北海道) 酒井励子(神奈川) 長瀬 修(神奈川) 大森直樹(東京)
岡 憲司(大阪) 江沢信一(埼玉) 馬橋憲男(東京) 福山YMCA(広島) 寺西和子(愛知)
桂 暎雄(京都) 藤村コノエ(神奈川) 沖 進(東京) 千葉大建(宮城) 大津和子
(兵庫) 木下理仁(神奈川) 岸真知代(新潟) 水野直美(東京) 中尾重嗣(広島) 山田俊
弘(千葉) 関 薫子(東京) 中村英重(山口) 本橋 栄(東京) 重田康博(東京) 林川玉
輝(神奈川) 千布浩行(佐賀) 阿見拓男(栃木) 風巻 浩(神奈川) 中野真理子(東京)
雨森孝悦(東京) 小野静男(福岡) 永井秀明(広島) とちぎYMCA(栃木) 鳥山孟郎(神奈川)
岡野内正(東京) 鈴木優子(埼玉) 佐々木美恵子(神奈川) 寿 茂(大阪) 上條直美(神奈川)
藤村泰夫(山口) 富里るみ子(沖縄) 石井 正(京都) 湊 明弘(東京) 先崎朋子
(東京) 加藤敦司(アメリカ) 村林美佐(愛知) アムネスティ日本支部(東京) 長谷川和子(兵庫)